

## 新潟東港地域水道用水供給企業団

### 汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第21報）

令和元年 8 月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

#### □ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、引き続き、県外の有効利用先へ搬出するための放射性物質濃度検査を行いました。

#### □ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
1 系	7号床	令和元年 6 月 17 日	検 出 されず	53 Bq/kg	県外の有効利用 先へ搬出
2 系	3号床	令和元年 7 月 2 日	検 出 されず	27 Bq/kg	
	4号床	令和元年 6 月 17 日	検 出 されず	19 Bq/kg	
	5号床	令和元年 5 月 10 日	検 出 されず	18 Bq/kg	
	6号床	令和元年 7 月 2 日	検 出 されず	32 Bq/kg	

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

#### □ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

#### □ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、嚴重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的low濃度の汚泥は、浄水場天日乾燥床用地内に仮置き場を整備し、大型土のう袋に詰め保管していましたが(約1,280 t)、県外に処分場が確保されたことから、平成30年11月から平成31年2月にかけて搬出を行い、全量処分が完了しました。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。
- 平成25年度より、放射性物質濃度が100Bq超から200Bq以下の浄水汚泥については、県外での有効利用先に搬出を開始しています。

#### □ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

新潟東港地域水道用水供給企業団

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第22報）

令和元年 12 月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、引き続き、県外の有効利用先へ搬出するための放射性物質濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
2 系	5 号床	令和元年 9 月 19 日	検 出 されず	49 Bq/kg	県外の有効 利用先へ搬出

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、嚴重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的low濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。
- 平成25年度より、放射性物質濃度が100Bq超から200Bq以下の浄水汚泥については、県外での有効利用先に搬出を開始しています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

新潟東港地域水道用水供給企業団

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第23報）

令和2年6月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、引き続き、県外の有効利用先へ搬出するための放射性物質濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
1系	6号床	令和2年6月9日	検 出 されず	84Bq/kg	県外の有効利用 先へ搬出
	7号床	令和2年4月24日	検 出 されず	29 Bq/kg	
2系	3号床	令和2年3月5日	検 出 されず	20 Bq/kg	
	4号床	令和2年6月9日	検 出 されず	19 Bq/kg	

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的low濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。
- 平成25年度より、放射性物質濃度が100Bq超から200Bq以下の浄水汚泥については、県外での有効利用先に搬出を開始しています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

新潟東港地域水道用水供給企業団

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第24報）

令和2年12月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、引き続き、県外の有効利用先へ搬出するための放射性物質濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
2系	3号床	令和2年9月30日	検出 されず	21 Bq/kg	県外の有効利用 先へ搬出
	5号床	令和2年10月16日	検出 されず	15 Bq/kg	
	6号床	令和2年7月17日	検出 されず	21 Bq/kg	

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。
- 平成25年度より、放射性物質濃度が100Bq超から200Bq以下の浄水汚泥については、県外での有効利用先に搬出を開始しています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

新潟東港地域水道用水供給企業団

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第25報）

令和3年6月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、引き続き、県外の有効利用先へ搬出するための放射性物質濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
1系	6号床	令和3年6月14日	検出されず	37 Bq/kg	県外の有効利用先へ搬出
	7号床	令和3年5月31日	検出されず	55 Bq/kg	
2系	4号床	令和3年4月14日	検出されず	20 Bq/kg	
	6号床	令和3年5月21日	検出されず	9.8 Bq/kg	

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、嚴重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的low濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。
- 平成25年度より、放射性物質濃度が100Bq超から200Bq以下の浄水汚泥については、県外での有効利用先に搬出を開始しています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

新潟東港地域水道用水供給企業団

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第26報）

令和3年12月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、引き続き、県外の有効利用先へ搬出するための放射性物質濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
2系	3号床	令和3年8月26日	検出 されず	47 Bq/kg	県外の有効利用 先へ搬出
	4号床	令和3年9月9日	検出 されず	150 Bq/kg	
	5号床	令和3年8月26日	検出 されず	29 Bq/kg	

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的low濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。
- 平成25年度より、放射性物質濃度が100Bq超から200Bq以下の浄水汚泥については、県外での有効利用先に搬出を開始しています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。
- 汚泥に含まれる放射性物質の検査についても適宜実施し、お知らせします。

新潟東港地域水道用水供給企業団

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第27報）

令和4年6月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、放射性物質濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
1系	7号床	令和4年6月6日	検 出 されず	12 Bq/kg	有効利用先へ搬出
2系	3号床	令和4年5月18日	検 出 されず	12 Bq/kg	
	4号床	令和4年5月11日	検 出 されず	検出されず	
	6号床	令和4年4月6日	検 出 されず	20 Bq/kg	

○ 検査機関 (財)新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道用水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。

## 新潟東港地域水道用水供給企業団

### 汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第28報）

令和5年1月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

#### □ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、放射性物質濃度検査を行いました。

#### □ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
2系	4号床	令和4年8月23日	検出 されず	14 Bq/kg	
	5号床	令和4年7月11日	検出 されず	12 Bq/kg	
	6号床	令和4年8月23日	検出 されず	25 Bq/kg	

○ 検査機関 一般財団法人 新潟県環境衛生研究所

#### □ 水道用水への影響について

水道水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

#### □ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的low濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に毎週1回測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

#### □ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。

## 新潟東港地域水道用水供給企業団

### 汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第29報）

令和5年6月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

#### □ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、放射性物質濃度検査を行いました。

#### □ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
1系	6号床	令和5年4月6日	検出 されず	19 Bq/kg	
2系	3号床	令和5年4月24日	検出 されず	14 Bq/kg	
	5号床	令和5年3月29日	検出 されず	21 Bq/kg	
	6号床	令和5年5月12日	検出 されず	検出されず	

○ 検査機関 一般財団法人 新潟県環境衛生研究所

#### □ 水道用水への影響について

水道水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

#### □ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的(毎月)に、お知らせしています。

#### □ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。

新潟東港地域水道用水供給企業団

汚泥に含まれる放射性物質の検査結果と保管状況等について（第30報）

令和6年1月

当企業団の東港浄水場で発生した放射性物質を含む浄水汚泥の直近の検査結果及び現在の保管状況等についてお知らせします。

□ 検査概要

乾燥工程を終えた天日乾燥床汚泥について、放射性物質濃度検査を行いました。

□ 検査結果

天日乾燥床番号		検査日 (採取日)	放射性 ヨウ素	放 射 性 セシウム合計	保管又は処分方法
1系	7号床	令和5年7月10日	検出されず	17 Bq/kg	
2系	3号床	令和5年8月28日	検出されず	50 Bq/kg	
	4号床	令和5年7月10日	検出されず	検出されず	
	5号床	令和5年8月18日	検出されず	14 Bq/kg	

○ 検査機関 一般財団法人 新潟県環境衛生研究所

□ 水道用水への影響について

水道水中の放射性物質は、平成23年4月1日以降、検出されていません。

□ 現状の保管状況等(対応)について

- 放射性物質濃度が8,000Bq/kgを超える高濃度の汚泥(21,000Bq)は、天日乾燥床(1系5号床)に屋根を架け、施錠が出来る施設に改造して、厳重に保管(放射性物質汚染対処特措法と電離放射線障害防止規則に対応)しています。
- 放射性物質濃度が8,000Bq/kg以下の比較的低濃度の汚泥は、平成31年2月に、全量処分が完了しています。
- 敷地境界における放射線量は、定期的に測定し、通常の範囲内に収まっていることを確認しています。
- 近隣住民の皆さんには自治会を通じて、定期的にお知らせしています。

□ 今後の対応について

- 放射性物質を含む汚泥の仮置き、保管、処分等については、放射性物質汚染対処特措法及び電離放射線障害防止規則等の法令を遵守し、今後も関係機関と協議の上、適切に対応を進めます。